

子どもたちが元気にジャンプ
小学生なわとび大会



▲初参加の1年生も寒さに負けず、一生懸命に跳びました

2月6日、第41回古河市小学生なわとび大会が古河はなもも体育館(中央運動公園総合体育館)で行われました。

市内の小学生345人が参加し、個人の部・チームジャンプの部それぞれの優勝を目指しました。20人で跳躍回数を競うチームジャンプの部では、どのチームも大きな声を出しながら息を合わせて跳びました。優勝は189回跳んだ「えりこぐみ^{エスビー}S.P」(仁連小学校)。

子どもたちはみんな元気いっぱい跳び、冬の寒さを吹き飛ばしました。

2月7日は「フナの日」です



▲200年以上の歴史がある「鮎の甘露煮」。昔はそれぞれの家庭でも作られていたそうです

2月7日(フナの日)、古河鮎甘露煮組合が市内の特別養護老人ホーム8施設に「鮎の甘露煮」を贈呈しました。

今回で7回目となる事業に組合長の関口章さんは「古河の特産品である『鮎の甘露煮』は、カルシウムたっぷりの健康食品です。ぜひ、普段の食事でも召し上がっていただきたい」と話していました。

代々引き継がれてきたふるさとの味である「鮎の甘露煮」を、この機会に皆さんも味わってみてはいかがでしょうか。

コミュニティ5地区合同
国道4号バイパススクリーン作戦

1月24日、国道4号線バイパスに隣接する5つの地区コミュニティ団体が合同で国道4号バイパスの側道など約12キロメートルの清掃を行いました。昨年までは、三和地区の2団体で実施していた清掃活動。市内団体が意見交換などを行い、交流を深めたことで「今年は地域住民が主体となり、ぜひ共同で事業を実施しよう」という機運が高まり、5団体で行いました。

大和田学区ふれあいの会会長の小曾根正一さんは「各会の役員さんの協力もあり、一斉に広い範囲を清掃することができました。道路利用者への『ポイ捨て禁止』などの意識啓発がより図れました。ゴミがなくなるまで、この活動は、継続して実施していきたい。次回もたくさんの人の参加をお願いします」と話していました。



▲寒空の下、たくさんの市民が参加しました(第13地区コミュニティ)



▲清掃後の炊き出しは世代間の交流の場になりました(大和田学区ふれあいの会)